

講義名	哲学(2年生以上)			授業形態	
担当教員	越後 圭一	開講期・曜日・時限	前期 火曜日 4 時限		
		単位数	2	履修開始年次	1 年生

主題と概要

哲学は、世界や人間の存在の有り様や存在そのものについて「問う」ことをします。常識や先人の教養を参考にしつつも、それらにとらわれず、じぶんの頭で「...とは何か?」と追求することが哲学の基本姿勢です。とはいえ、やはり先人の教養を知ることは大事です。この講座では、おもに近世哲学の代表的な思想を紹介することで、じぶんの頭で考えるためのヒントにでももらいたいと考えています。

到達目標

- ・知への興味や関心を引き出し、物事を深く考えるための知的基礎形成を促す教養をつけること
- ・物事の本質を原理的に思考するヨーロッパ近世哲学の特徴をつかむこと

提出課題

- 提出は2回。
- ・中間レポート：授業の感想や疑問点など
 - ・学期末レポート：講義中で扱った思想や概念についての論述（テーマは授業内で発表）
- 提出方法：各自Word等文書作成ソフトでファイルを作成し、キャンバスクロスより送信
スマートフォンからの送信は不可（添付ミスが多発しているため）

課題（レポートや小テスト等）に対するフィードバックの方法

中間レポートに関しては授業内でフィードバックを行います。

評価の基準

中間レポート（30%）、期末レポート試験（70%）
両方の提出がない場合は「不可」とする。

授業に参加し、内容をよく理解できていることを前提とし、授業の理解が反映されたレポートでなければ評価しない。
インターネット上の文章やAIから得た知識を丸写ししたレポートは評価しない。
期末レポートでは、自身の感想を述べた部分に関しては点数評価に加え、最低限の文字数などの条件を満たさないレポートも失格とみなします。

授業はすべて講義形式で行います。キャンバスクロスより毎回配布する資料（pdfファイル）を授業時間までにダウンロードし持参してください（プリントアウトorノートPCからの閲覧等）。

授業資料は必ず毎回ダウンロードし保管してください。課題作成時に必要になります。

履修にあたっての注意・助言他

哲学という難しいイメージがあるかもしれませんが、この授業では近世哲学全体の特徴をつかみやすいように息思想家について深く踏み込まず、かんたんに概説するつもりです。気軽に受講していただければと思います。ただし授業に参加せずに課題提出のみで単位を取得しようとしても不可能であること心得てください。

教科書

.使用しない。					
---------	--	--	--	--	--

参考図書

.なし。					

その他

授業資料を毎回配布します。参考文献は授業内で紹介する予定です。

授業計画

- 第1回 ガイダンス 中世から近世へ
予習：配布資料を読み、授業の進め方・課題などについて理解しておく（90分）
復習：中世トマス・アクィナス神学の特徴について配布資料をもとに整理し理解する（150分）
- 第2回 近世哲学のはじまり ルネサンス
予習：配布資料を読み、「ルネサンス」の語の意味を調べておく（90分）
復習：近世的な人間観念に立つ思考スタイルの特徴について配布資料をもとに整理し理解する（150分）
- 第3回 近世哲学のはじまり 宗教改革
予習：配布資料を読み、「宗教改革」の語の意味を調べておく（90分）
復習：ルターの「信仰義認論」について配布資料をもとに整理し理解する（150分）
- 第4回 近世哲学のはじまり 科学革命
予習：配布資料を読み、近世の「科学革命」について調べておく（90分）
復習：「仮説発想法」という思考スタイルについて配布資料をもとに整理し理解する（150分）
- 第5回 合理論 デカルトの方法論
予習：「デカルト」、「明晰判明」、「分析」、「総合」の語の意味を調べておく（90分）
復習：デカルトの体系的思考スタイルとその方法論について配布資料をもとに整理し理解する（150分）
- 第6回 合理論 デカルトの心身二元論
予習：「実体」、「属性」、「心身二元論」の語の意味を調べておく（90分）
復習：デカルトの心身二元論が解決不可能な問題と見なされる理由について、配布資料を振り返り理解する（150分）
- 第7回 合理論 スピノザの方法論
予習：「実体」、「属性」、「心身二元論」の語の意味を調べておく（90分）
復習：デカルトの心身二元論が解決不可能な問題と見なされる理由について、配布資料を振り返り理解する（150分）
- 第8回 合理論 スピノザの自然
予習：「神即自然」、「必然と偶然」、「決定論」の語の意味を調べておく（90分）
復習：スピノザによる心身関係の解釈について、配布資料をもとに整理し理解する（150分）
- 第9回 合理論 ライブニッツ 偶、差異、調和
予習：配布資料を読み、「モナド」の語の意味を調べておく（90分）
復習：個性とそれを特徴づける「差異」について配布資料をもとに整理し理解する（150分）
- 第10回 合理論 ライブニッツの個体論
予習：配布資料を読み、「予定調和」の語の意味を調べておく（90分）
復習：ライブニッツによる心身関係の解釈について、配布資料をもとに整理し理解する（150分）
- 第11回 経緯論 ロック
予習：「経緯論」、「生得観念」の語の意味を調べておく（90分）
復習：ロックによる合理論批判について、配布資料をもとに整理し理解する（150分）
- 第12回 経緯論 パークリ
予習：「モリスアキス問題」、「観念論」の語の意味を調べておく（90分）
復習：パークリ経緯論における存在のとりえ方が合理論のそれとどう異なるのか、配布資料をもとに整理し理解する（150分）
- 第13回 経緯論 ヒューム
予習：配布資料を読み、「懐疑論」の語の意味を調べておく（90分）
復習：ヒュームは「人間」をどのように考えているか、配布資料をもとに理解する（150分）
- 第14回 カントの批判哲学
予習：「真善美」の語の意味を調べておく（90分）
復習：カントの認識論のしくみについて配布資料をもとに整理し理解する（150分）
- 第15回 カントの道徳論

授業形態（アクティブ・ラーニング）

ア：PBL（課題解決型学習）	イ：反転授業（知識習得の要素を授業外に済ませ、知識確認等の要素を教室で行う授業形態）
ウ：ディスカッション、ディベート	エ：グループワーク
オ：プレゼンテーション	カ：実習、フィールドワーク
キ：その他（A・L型であるけども、以上の項目のいずれにも該当しない場合）	

卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連

流通科学大学の学生が卒業時に共通して身につけておくべき資質・能力として、本講義は、物事を原理的に洞察する態度を身につけることを促し、(2)知識を知恵に転換することができる、論理的思考力を持った人材の育成に貢献します。

双方向授業の実施及びICTの活用に関する記述

実務経験の有無及び活用

備考

授業の進み具合等に応じて内容を変更する場合があります。